

# 愛知県蒲郡市の取組事例

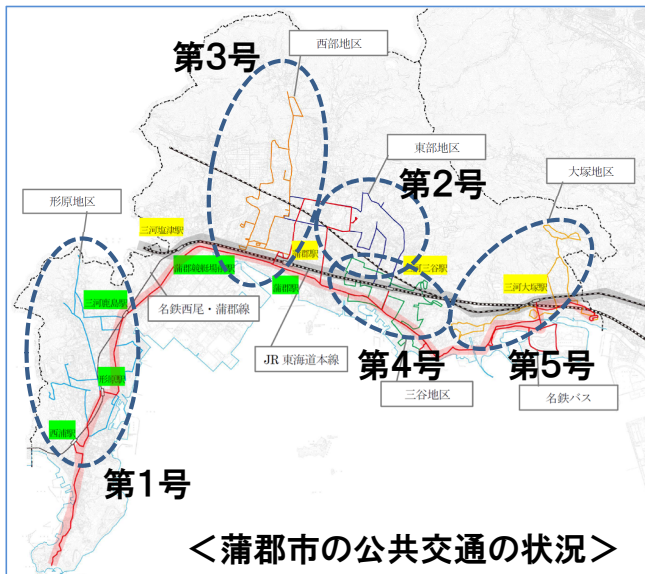
## コロナ禍における3者連携による コミュニティバスの維持確保方策

蒲郡市役所 市民生活部 交通防犯課 井本 博子  
 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 筒井 康史  
 名城大学 松本 幸正

### ① 背景・経過:これまでの取組...

- 公共交通は鉄道と路線バス。一部交通空白問題を抱える。
- 地域からの要望で、コミュニティバスの運行が要請される。
- 地域協議組織が組成され、交通会議にて事業承認、運行。
- 2019年度に第2・第3路線運行化。
- コロナ感染症拡大後も交通空白地での運行要請あり。
- 地域協議組織が組成され、事業化。

2015以前	鉄道と路線バス。空白地あり。
2015年4月	コミュニティバス1号運行開始
2019年度	第2・3号運行開始
2020年1月	コロナ感染症 発症事例
2021年1月	第4号運行開始
2021年4月	第5号運行開始



### ② 地域の取組:3者連携による対応...

「地域住民」はコミュニティバスを検討。「行政」は地域支援。「交通事業者」は運行受託 ⇒ 住民主導の事業

地域住民の役割・取組	行政の役割・取組	交通事業者の役割・取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>ルート、ダイヤ等を地域で設定。</li> <li>口コミ等での利用促進対応。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通会議の運営。議決支援。</li> <li>事業構築、予算確保等支援。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全運行。体験会の実施。</li> <li>抗ウイルス対策、ポスター掲示</li> </ul>

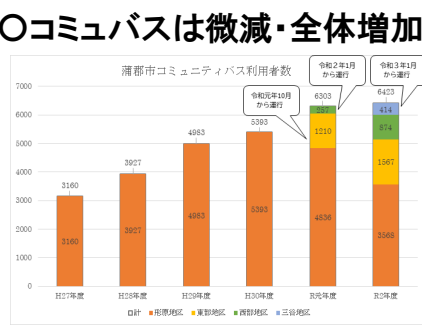
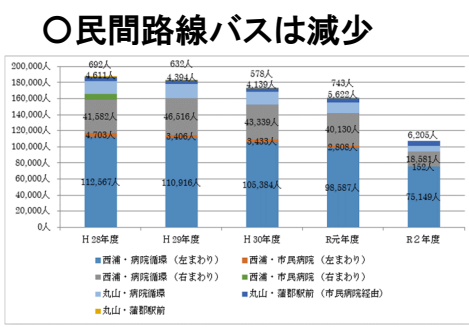






### ③ 効果検証:コロナ禍であっても...

- 民間路線バスは、コロナ契機に大幅に減少。
- コミュニティバスは微減で食い止め。
- 新規路線化から、全体としては増加。
- コロナ禍でも地元主導で「出発式」開催。
- 新たな交通利用者を発掘。地域コミュニティ、交流を促すツールとしてコミュバスが機能。



### ④ 成果・今後:成果を得た要因(自己分析)...

- 交通空白問題から住民のがんばりで事業化。これまで、利用者増を目指してきた。
- 今後は、住民組織同士の連携強化から環境維持、相互利便性の向上を目指す。

#### <今までのPDCA>

- 行動 ⇒ MM実施による利用促進
- 目標 ⇒ 事業化と単体の利用者増

#### <これからのPDCA>

- 行動 ⇒ 行政+住民+事業者の連携強化
- 目標 ⇒ ネットワーク維持・利便性の向上